

会津駒ヶ岳山行報告

【山行日】 2020年 7月 18(土) 曇り後晴れ

【集 合】 栃木市運動公園P AM 3:00

【費 用】 マイカー1台 : 2,800円

【メンバー】 CL:鈴木、 SL:齊藤、島田、清水カ、鶴見、福島

【コースタイム】栃木市運動公園 P3:20＝滝沢登山口 P5:40/6:00～水場 7:20～駒の小屋 8:40/8:50
～会津駒ヶ岳 9:10/9:15～中門岳 9:55/10:20～駒の小屋 11:00/11:40～水場 12:40/12:55～
滝沢登山口 P13:50/14:00～道の駅「桧枝岐」14:20/14:35＝栃木市運動公園 P16:45

会津駒ヶ岳に登りたいとリクエストがあり、ハクサンコザクラが一番きれいな時期を狙って計画し



た。この時季は駐車場が混雑するので、早朝3:00に栃木市運動公園を出発する予定だったが、我輩が寝坊し20分遅れて出発する。桧枝岐に入り滝沢林道へ右折してすぐのトイレに寄り、トイレを済ませて一番奥の駐車場に着く。すでに車が10台以上止められていたが、2台分空きスペースがあり止めることが出来た。準備を整えてストレッチを行ってから出発する。林道終点まで進み、左の木のハシゴを登って樹林帯に入る。ここからが本格的な登山道で、いきなり急登の連続になる。

樹林の道はブナやミズナラの広葉樹から、オオシラビソなどの針葉樹が混じるようになり、ゆっくり高度を上げて行くと水場に着く。休憩してメロンをいただき、汗が引いたら出発する。ここからは道がやや緩やかに登るようになり、途中の開けた登山道からは日光連山が見えるはずだが、今日は雲に隠れてみる事が出来ない。道が平坦になり木道を歩くと、最初の湿原に出る。ベンチが置かれた展望所になっており、湿原の向こうにこれから登



る会津駒ヶ岳が堂々と聳えている。ここからほんの少し樹林帯を歩くと大きな湿原に出て、湿原に延びる木の階段を登ると駒ノ大池に着く。池の脇にはテーブルとベンチが整備され、すぐ上には駒ノ小屋が建ち小屋の裏側に立派なトイレが整備されている。大休止しトイレを済ませたり、行動食を食べてエネルギーを補給する。疲れた2人のザックをベンチにデポし、水とレインウエアーを預かって登る。駒ノ大池の周りはハクサンコザクラが群生し、ピンクの可憐な花に出会うことが出来た。

池の畔を通り木道を歩いて会津駒ヶ岳に向かい、山頂の西側から分岐を右に登ると会津駒ヶ岳山



頂に出る。大きな山頂標柱が立っているが、樹林に囲まれていてほとんど眺望は得られない。

山頂標柱の前で記念写真を撮ってもらい、直ぐに中門岳に向かって北西に下って行く。湿原を下る木道を歩き、駒ノ小屋からの道を合わせて右に進む。

ここからが今日のコースのハイライトで、緩やかにアップダウンを繰り返し高層湿原の尾根を歩く。ハクサンコザクラやイワイチョウ、コイワカガミなどの花を見ながら、まさに雲上の楽園を堪能する。池塘が点

在する湿原から、笹原を抜け少し下ると池塘の畔に山頂の標柱が建つ中門岳に着く。木道はこの先まで伸びており、少し小高い湿原にベンチがある展望所が造られていた。ベンチで休憩し、プリンを食べながら展望を楽しむ。ここから中門岳まで戻り、標柱の前で記念写真を撮って駒ノ小屋に戻る。往路に戻るが、晴れて来て日差しが強くなり、花が勢いを増してピンクが濃くなったように見える。会津駒ヶ岳西側の樹林帯の木道は、昨夜の雨で濡れていてとても滑りやすい。



滑らないようにゆっくり慎重に歩き、無事駒の小屋まで戻る。ベンチとテーブルでうどんを作り、おにぎりとキュウリの漬物、ピーミンを美味しくいただく。デザートバナナを食べ、お茶を飲んだらトイレを済ませ下山する。下山は往路を戻って水場で休憩し、元気な3人は水場に降りて水を汲んできた。ここからも順調に下り、予定通り登山口駐車場に着く。

靴を履き替え、荷物を積んだら車に乗り帰路につく。道の駅「桧枝岐」に寄り、トイレを済ませソフトクリームをいただく。途中の道の駅「たじま」にも寄って、飲

み物や野菜を買って、無事に栃木市運動公園へ帰着した。

